

海上保安庁における薬物事犯の摘発状況と 水際対策について

海上保安庁

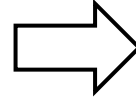
警備救難部国際刑事課



令和5年における海上保安庁が摘発した薬物事犯は11件

◎ 過去5年間の薬物摘発実績

		平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
摘発件数		9	5	11	6	11
押 収 量	覚醒剤	1,647.67kg	237,38kg	626.49kg (1件鑑定中)	11.96kg	749.34kg (1件鑑定中)
	大 麻	227.59g	微量	164.17g	300.56kg	62.53g
	麻 薬	577.65kg	781,76kg	2.00kg	0	847.20g
	あへん	0	0	0	0	0
	指定薬物	0	0	0	0	0.73g



11件の内訳

密輸事犯 4件

不法所持事犯 6件

薬物製造事犯 1件

注：表の数値は、当庁単独又は他機関と合同で摘発したもの。

～ 摘発のポイント ～

- ✓ 密輸事犯の3件が海上貨物を使用しての覚醒剤の密輸
- ✓ 船員等の不法所持事犯については大麻所持が4件であり、大麻事犯が増加
- ✓ 海上保安庁として初となる製造事犯(コカイン)を摘発
- ✓ 押収薬物は覚醒剤が最多

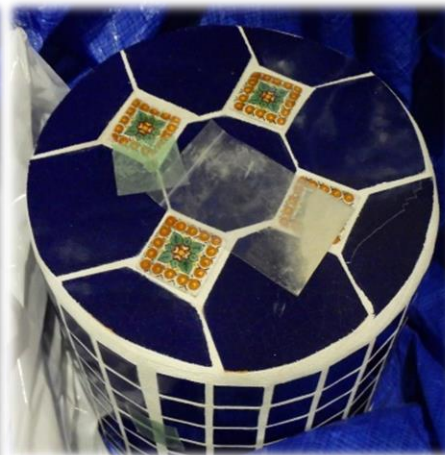
米国来海上貨物覚醒剤密輸入事件

(東京都)

令和5年1月、関係機関と合同で、京浜港東京区大井ふ頭にて陸揚げされた海上貨物（陶器製ツール）に隠匿した**覚醒剤約30kg**を密輸入したとして、令和5年3月、日本人2名を、国際的な協力の下に規制薬物に係る不正行為を助長する行為等の防止を図るための麻薬及び向精神薬取締法等の特例等に関する法律違反（規制薬物としての所持）の疑いで逮捕し、その後**覚醒剤取締法違反（営利目的輸入）**で逮捕しました。



陶器製ツール



隠匿された覚醒剤

アラブ首長国連邦来海上貨物覚醒剤密輸入事件

(東京都)

令和5年3月、関係機関と合同で、京浜港東京区大井ふ頭にて陸揚げされた海上貨物（プラスチック製板）に隠匿した**覚醒剤約700kg**を密輸入したとして、中国人7名を、国際的な協力の下に規制薬物に係る不正行為を助長する行為等の防止を図るための麻薬及び向精神薬取締法等の特例等に関する法律違反（規制薬物としての所持）の疑いで逮捕し、その後の突き上げ捜査により同中国人のうち3名を**覚醒剤取締法違反（営利目的輸入）**の疑いで逮捕しました。



押収した覚醒剤

内航船乗組員による大麻不法所持事件 (大阪府)

令和5年5月、かねてから内偵捜査中であった、被疑者乗船の内航船が阪神港に入港したことから、船内捜索を実施。被疑者の居室である船長室において大麻草様植物等を発見、予試の結果「陽性」であったことから、被疑者を**大麻取締法違反（所持）**の疑いで現行犯逮捕しました。



押収した大麻

ペルー人によるコカイン営利目的製造事件 (滋賀県)

令和5年5月、過去の密輸事件を足掛かりに内偵捜査等の粘り強い捜査を進め、関係機関との合同捜査により、メキシコ麻薬カルテル関係者らが集合住宅の一室でコカインを製造したとして、麻薬及び向精神薬取締法違反の疑いで、滋賀県在住ペルー人ら男女5人を逮捕しました。



押収したコカイン精製資機材等

監視・取締り体制の強化

- 巡視船艇・航空機を積極的に活用し立体的な洋上監視の実施
- 情報収集と分析を実施し効率的な監視・取締の実施



立入検査・取締の強化

- 積極的な外国船舶に対する立入検査や監視の実施
- 関係機関間の緊密な協力を図り、各種捜査手法の向上



国内外の関係機関との連携

- 国内外関係機関との各種会議や研修への参加
- 海外関係機関への職員の派遣
- 関係機関との連携強化及び情報交換の実施

